

犬山ため池ミーティング

～良好な水環境の保全と回復に向けて～

日付:平成23年11月6日(日)【**入場無料**】

時間:午後1時00分～4時30分(午後12時30分開場)

会場:犬山国際観光センター「フロイデ」2F 多目的研修室1

犬山市松本町 4-21/TEL:0568-61-1000/名鉄犬山駅より徒歩 3 分/無料Pあり

主催:環境省登録 環境カウンセラー 大屋 渡 (市民部門 2004223004 号)

後援:犬山市生活環境部公園緑地課

タイムスケジュール及び内容:

1時00分 開会あいさつ

1時10分

基調講演「**ため池の世界を探る**」

—川でも湖でもない環境—

名古屋女子大学大学院教授 理学博士 村上哲生 氏

2時10分 休憩

2時20分 調査研究事例発表

「景勝地『大洞池』での2年間の水質モニタリングから見えてきたもの」

環境調査会社(株)愛研職員・地球環境科学修士・環境計量士 大屋 渡

3時10分 休憩

3時30分 パネルディスカッション

犬山市のため池などを対象とする水環境保全の実践者や有識者の皆さん
(NPO法人犬山里山学センター、愛知県環境調査センターOB、地元グループ等)

4時20分 閉会あいさつ

問い合わせ:大屋(Twitter ID : @wohya)

※この事業は、犬山市環境保全基金の補助を受けて行うものです。



犬山ため池ミーティング

趣旨: 濃尾平野がはじまる上流部である扇状地、そのほぼ扇頂部に位置する犬山ですが、一般に、扇状地では河川水が地面の下に伏流するなど、その水位は通常著しく低くなってしまったため、犬山でも木曾川の水は基本的に利用することができず、そこで農業を成立させるためには、ため池の存在が必要不可欠でした。したがって農業と自然生態系が一体となることで成立した里山環境にとっては、ため池が最も重要な水環境であったといえ、近代化により大規模な用水が整備されたことに伴い灌漑における役割を低下させた今でも、ため池は、犬山の自然環境を特徴づける重要な要素となっています。

この「犬山ため池ミーティング」では、そのようなため池に関する基礎知識を再確認するとともに、具体的な保全を考える上で、ため池の特色としてどのようなことを理解すべきか、あるいは水環境全体から見たため池の存在価値など、ため池をはじめ河川や湖をフィールドとして幅広く活躍してこられた有識者ならではの視点をご紹介させていただく「基調講演」と、犬山を代表する自然景勝地のひとつである「大洞池」の2年間の水質モニタリングから見えてきた景観の季節変化と水質との関係についての「調査研究事例発表」を議論の叩き台として、犬山市のため池などを対象とする水環境保全の実践者や有識者の皆さんに、水環境の保全に向けた具体的な課題と解決策について、聴衆の皆さんも交えながら自由なご議論をいただき、その方向性に関する合意形成の一助となることを目指します。

基調講演者紹介: 村上 哲生 氏

1950 年生まれ。大学卒業後、名古屋市環境科学研究所の水質部の研究員として、名古屋市内を中心とするため池や河川を対象とした研究活動を開始。そこで数多くの研究成果を挙げるとともに、研究対象を全国各地の河川や湖に広げ、2000 年から大学教員に転身。自然河川の研究のみならず、とりわけダムや河口堰が河川生態系に及ぼす影響に関して詳細な研究を継続的に実施し、2002 年には第 2 回日本自然保護協会沼田眞賞を受賞。国交省や森林管理局、県が設置した流域の観測・調査・利用に関する各種委員会の委員を歴任。また名古屋市環境科学研究所在籍中より市民参加型の水環境の一斉観測等を企画・実施してきたこともあり、市民による自然保護・環境保全の実践に関する造詣も深く、可児市の環境基本計画検討委員会副委員長も務めた。現在、名古屋女子大学大学院及び家政学部生活環境学科教授。犬山市在住。

大洞池における調査研究:

大洞池は犬山市城東地域の溪谷を高さ 9m の堤で堰き止めることによって作られた築 80 年以上になるため池で、資料では「砂防ダムとして築造」という記述もありますが、現在は農業用ため池として利用されています。周囲をコナラを中心とする森林に囲まれ、風光明媚な地としてハイカーなどの皆さんに親しまれています。ここでの水質モニタリングは、週 1 回という高頻度で 2009 年 1 月より開始され現在も続いており、現在までに 140 回分程度の測定データが蓄積されています。流域に人為的汚染源が存在しないため、その水質は基本的には汚濁の少ない状況ですが、モニタリングの結果、降水量の季節変化など様々な要因によって大きく変動することが確認され、それが特に秋口の景観の悪化とも深い関係があることもわかってきました。事例発表では、その美しい景観とともに、データが何を物語っていると考えられるかを紹介します。